

すぎのこ



幼保連携型認定こども園
尚綱大学附属こども園

今年度の取組みについて

てお知らせ
できるように
努めます。

四月二日の保護者会のご参加ありがとうございました。

当日ご説明させていただいた内容と重なる部分もあるかと思いますが今年度の取組みをお知らせいたします。

昨年度末に学校評価のアンケート及び園運営改善アンケートをとらせていただきました。どちらも多数のご回答ありがとうございました。

令和7年度「すぎのこ」第2号

そのご意見を参考にさせていただいたうえで、園で検討した結果、今年度は下記のように取り組んで参ります。

① 午前中保育やお弁当の日、預かり保育について

昨年度に引き続いて同様の日数回数で行っていきます。

② コドモン

ご利用の際、見やすくなるように要点を整理して送ったり学年だよりの月一回にしたりして精選し

保護者の皆様も出欠の打刻等のご協力をお願いいたします。

③ ぱんだ組の入園

これまでぱんだ組(満三歳クラス)では誕生月の翌月からの入園でしたが、それと合わせて五月からの体験入園を選択していただけるようになりました。

④ 行事等

今年度の儀式的行事については入園式を土曜日に実施しました。修了証書授与式は平日に実施します。次年度以降については一学期末頃までにお知らせいたします。

また、昨年度、年長児は杉の子会のバザー時に野菜の販売を体験しましたが、今年度も販売体験を行います。それに合わせて栽培、収穫販売等一連の経験をさせていきます。また小学校への接続・連携を進めていく目的で、講師によるひらがなや数についての遊びを行う予定

です。また英語あそびも幼児教育学科の先生をお呼びして行います。あくまでも学習ではなく遊びです。一年生との交流会も行う予定です。

「好奇心」を育てる

「非認知能力を育てる その3」

先日、ある集まりで各自が自己紹介する場があったのですが、私が現在尚綱こども園に勤めていると話をした後、すぐに二人の五〇代の男性が私のところに来られました。そしてそれぞれが「私の息子二人とも尚綱幼稚園出身です。」とおっしゃいました。そして、尚綱こども園(幼稚園)に通わせて

よかった!という事を熱く語ってくださいました。何がよかったか尋ねると、「こどもたちは園で何にでも好奇心をもって興味のあることに熱心に取り組みました。幼稚園では鍵盤ハーモニカなど習っていませんが、小学校に入ってからとて興味を示し(スポンジが水を吸うように)あつという間に上手になりました。また、もう一人の方も「とことん遊ばせている様子をみて妻が絶対ここだと決めました。

実際それは間違っていないかもしれません。なんでも興味を示し特に運動が大好きになりました。その中でも野球にはまって今でも頑張っています。遊びばかりですが、それだからいいのです。」とおっしゃってくださいました。お二人のお子さんは興味こそ音楽、運動と違いますが共通しているのは「興味を自ら持った」「好奇心を示した」という事です。この「好奇心」は幼児期に育てるべき非認知能力の一つです。

米国カウンセリング学会の元会長・克蘭ボルト博士という人がビジネス界、学術界、芸能界などの人生の成功者に対して、自分を成功や幸福に導いていった要因を調べました。するとその人たちのうち計画的に実現していた要因は二割、残り八割はたまたま偶然の出会いや出来事を大切にし、それをうまく人生に生かしたり好奇心を示し乗っかったりした結果によるものだとかったそうです。また克蘭ボルト博士の調査では、次の五つがとても大事であることが分かりました。

・好奇心：新しい学びの機会を作り出す。いろいろなことにワクワクできるか、興味を持てるか。

・持続性：困難に負けずに努力を続ける。努力を続けられるかどうか。

・柔軟性：態度と環境を変える。オープンマインド。優柔不断。

・楽観主義：さまざまな新しいチャンス達成可能なものと見なす。

・リスクテイキング：不確かな結果に直面しながらアクションを起こす。リスクをおかして不確かなものに自分をかけられるかどうか

『7つの力』を育てるキャリア教育(諸富祥彦著 図書文化)より

これを見て、いろいろなことに好奇心を示せるということはその後の努力を含めてとても大切なことだと思いました。好奇心が強ければ努力が苦だと感じる割合も少ないことでしょう。

今年度も計画的意図的に好奇心を育てる環境を構成していきます。



蛇腹の門を付けました

出入り口の安全性を高めるために設置しました。バスの2便が帰ってくる9:40以降にいられた場合は開閉の協力をお願いします。